



ショートコメント

★★★★

Data 2025-54

# ぶぶ漬けどうどす

2025年/日本映画

配給：東京テアトル/96分

2025（令和7）年6月10日鑑賞

テアトル梅田

監督：富永昌敬

出演：深川麻衣/小野寺ずる

／片岡礼子/大友律

／若葉竜也/山下知

子/森レイ子/幸野

紘子/守屋えみ/尾

本真史/遠藤隆太/

松尾真史/豊原功補

／室井滋

## 👁️👁️ みどころ

京都特有の有名な言葉が、そのままタイトルに！京都の家に遊びに行き、ぶぶ漬け＝お茶漬けを勧められたら、さあ、あなたは・・・？

『千年の古都』を歌った歌手・都はるみは、京都生まれ、京都育ちの京都人だが、フリーライターのみどかは「京都老舗赤裸々リポート」の取材と完成が目的？それとも、本気で14代目の嫁になるつもり・・・？

こんな映画みたいな映画はTVで十分！そう思ったが、いざ観てみると、こりゃ面白い！もっとも、弁護士生活51周年を迎えた今、弁護士活動中での「ぶぶ漬けどうどす」を考えてみると、イヤなことがいっぱい・・・？

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

◆1967年4月に大阪大学法学部に入学した私は大学時代の3年間を大阪で過ごしたが、1年前に京大工学部に入学した兄の下宿を訪れた時は、よく京都を見学した。また、将来、兄弟共に京都・大阪に住むであろうと考えた松山の両親は、私が4回生の時に、家賃を支払い続けることと比較考量の上で、阪急京都線桂駅から徒歩10分の2戸1の小さな建売住宅を購入し、2階を兄が、1階を私が使うことになった。

したがって、1972年4月に始まった第26期司法修習生中の私の住まいはそこだった。同年夏に早々と結婚した私は、そこを離れて、同じく桂駅にあった新たな借家に引っ越し、弁護士1年目はその借家から大阪の堂島法律事務所まで電車で通っていた。私が京都を離れ、徐々に“大阪人”になっていったのは弁護士1年目で、枚方市内の小さな4戸1の建売住宅を購入し、さらに2年目に奈良県生駒郡斑鳩町で庭付き1戸建住宅を購入した後だ。つまり、大学時代の最後から弁護士1年目まで、私は“大阪人”ではなく、自分を“京都人”だと自覚していた。

もっとも、そんな私は京都観光は好きだったが、基本的に京都人は嫌いだった。それは一体なぜ？それは私のプライベートにも関係があるからここには書かないが、本作冒頭、京都で450年続く老舗扇子店の長男・澁澤真理央（大友律）と結婚し、東京から京都にや

ってきたフリーライターの澁澤まどか（深川麻衣）は、どうやら本心から京都が好きらしい。しかも、数百年の歴史を誇る京都の老舗の暮らしぶりをコミックエッセイにしようと、義理の実家や街のおかみさんたちの取材にのめり込んでいったが、さて、その行方は？

◆大阪で弁護士登録した2年目の冬、私は大阪の中心地で起きたある大事件について、地質鑑定を依頼するため、京都の某料亭で、某大学の某教授と面会することになった。そんな大事件は、もちろん私個人の事件ではなく事務所の事件だが、当時27歳の私は、京都の老舗料亭の中に、長いコートを着てマフラーをしたままズカズカと入り込み、教授に挨拶したところ、こっぴどく叱られてしまった。もちろん、それは私の礼儀作法がなっていないためだが、そんなことにこだわらず事件の打ち合わせを優先させりゃいいのに！それが若くて仕事一辺倒の私の正直な思いだったから、そこでまたまた私は京都ギライになってしまうことに・・・。

◆堂島法律事務所での勤務弁護士時代が5年半続いた私は、実にさまざまな事件を処理してきた。また、1979年に独立して坂和法律事務所を開設した後は、事務員の数の増大とともに、それはさらに加速した。事件の質はさまざまだが、弁護士の専門用語の1つに、“事件の筋”がある。要するに、「筋の良い事件」と「筋の悪い事件」があるわけだが、2025年3月末で弁護士生活51周年を迎えた私は、京都の事件は基本的にキライ！京都人の依頼事件は要注意！そんな思いを強くしているが、それは一体なぜ？

◆本作の主人公はまどかだが、映画としてはまどかを“突出”させるため、まどかの夫・真理央の描写はごく控えめにしている。また、13代目の当主・澁澤環（松尾貴史）の“アホぼん”ぶりもお見事だが、それも控え目にしている。他方、まどかと“女の戦い”を繰り広げるのは、第1に真理央の母親で13代目おかみの澁澤環（室井滋）、第2に洛中女将さん会のリーダーで京料理の老舗「おたけ」女将の竹田梓（片岡礼子）だ。また、私が大いに興味のある、いかにも今風の土地問題をめぐる京都の問題で、まどかが対決するのは、不動産会社社長の上田太郎（豊原功補）だから、そのバトルに注目！

本作はタイトルをみただけで、そのコミック性と問題提起は明らかだが、それはパンフレットにある次の「CHARACTERS」をみればより明確になるはずだ。

